

予算審査特別委員会

第61号議案・平成23年度白石市一般会計補正予算(第4号)から第66号議案平成23年度白石市下水道事業会計補正予算(第3号)については、定例会3日目(9月7日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・大町栄信、副委員長・大野栄光)は、9月8日に現地調査を行い、9月12日に審査した結果、付託された全議案については、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論されたおもな点は次のとおりです。

◎第61号議案・平成23年度白石市一般会計補正予算(第4号)

〔質疑〕不動産売却収入で7万3千円とあるが、場所と面積はいくらか。

〔答弁〕場所は旭町1丁目で見積は約177平方メートルである。

〔質疑〕地方交付税が確定し、増額分を、今回、減債基金に3億6千300万円、都市整備基金に4億円繰り入れるという事だが、どのように活用して

いく事を検討しているのか。

〔答弁〕減債基金については、今年度災害復旧に係る地方債を約16億円借り入れする予定であるが、償還が平成29年度頃から始まることになるため繰り入れをし、都市整備基金については、今後の白石沖西堀線ほか、都市基盤整備の事業用として、繰り入れするものである。

〔質疑〕今回予算措置されている500万円ですれぐらしい数の防犯灯を交換できるのか。

〔答弁〕今回、大手住宅メーカーからLEDの防犯灯千灯をご寄附いただいた。これを受け、みやぎ環境税を活用し、交換しようとするものである。今年度中に約600灯を交換したいと考えている。

〔質疑〕市内の防犯灯の数は、寄附いただいた千灯では足りないと思うが、今回はあくまでも寄附いただいた分だけで、その後の部分も視野に入れているのか。

〔答弁〕地区毎に設置している防犯灯は、今回寄附いただいた千灯でほぼ交換できると考えている。ただ、公園の防犯灯や商店街の防犯灯を、今後5年ぐらいの間に計画的にLED化を図っていきたい。

〔質疑〕今回配布を予定する救急医療情報キットはどういった方々が対象になるのか。

〔答弁〕65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの高齢者世帯並びに、社会福祉協議会で備えている災害時要援

護者台帳に登録されている方々を配布対象としている。

〔質疑〕地域支え合いブランチセンター整備事業の内容について説明いただきたい。また、公用車購入費も計上されているが、どこに設置されるものなのか。

〔答弁〕地域支え合いブランチセンター整備事業は、ブランチセンターとして現存する在宅介護支援センターが、地域包括支援センターの総合相談業務において、より連携を取り、相談者とのつなぎという形で、高齢者の見守り、実態把握をお願いするものである。

公用車購入については、ブランチセンターに2台、地域包括支援センターに1台の合計3台で、軽自動車タイプの福祉車両である。

〔質疑〕白川保育園を現地調査し、屋根を全面改修という説明があったが、昨年配布された、今後公共施設を修繕する場所一覧の中では、白川保育園の屋根補修は210万円と予

算額があり、今回は450万円計上されているが、どのように内容が変わったのか。

〔答弁〕全面改修ということでは今450万円を計上した。昨年の資料の210万円は、スリット塗装のみの数字である。



白川保育園

〔質疑〕公共施設工事を見ると、壊れたら直すという考え方が見受けられるが、子ども達の使う施設等を長く使うには常日頃のメンテナンスが必要なのではないか。

〔答弁〕出来れば、計画的に予算措置をしていきたいという気持ちはあるが、なかなかそこまでいかないというのが実態である。せめて幼稚園や保育園などについては、計画的な維持補修も含めて今後十分に検討していきたい。